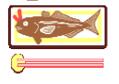


大腿骨骨折の手術を受けられる

様へ

パスコード:09009 世代:3

項目	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日
	入院	手術前日までにすること	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目～	手術後7日目～	手術後14日目～	退院・転院日
達成目標	手術まで体調のコントロールができる。	手術前後の流れについて理解ができる。 必要物品が準備できる。	手術、麻酔の不安を最小限に過ごせる。	痛みを訴えることができる。合併症がおこらない。床ずれがおきない。	床ずれがおきない。リハビリを開始することができる。	痛みの増強なく過ごすことができる。			痛みの増強なく過ごすことができる。 車椅子、歩行器、杖などの移動方法がわかる。 見守りのもとシャワー浴を行うことができる。 シャワー浴の方法がわかる。	痛みの増強なく過ごすことができる。 歩行器歩行、杖歩行をすることができる。 見守りのもと安全に入浴を行うことができる。 浴槽への出入りの方法がわかる。	退院・転院できる。 痛みの増強なく過ごすことができる。 感染を起こさずに過ごすことができる。
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ	持参薬の確認をします。 	午前手術の方は、前々日に下剤内服、前日に洗腸します。 午後手術の方は、手術前日に下剤内服をします。 足の爪切りをします。 手術翌日に内服する薬をセットします。	午後手術の方は、午前中に洗腸します。 指示された薬だけを少量の水で飲んで下さい。	抗生剤の点滴を行います。食事がとれないため点滴を続けます。 	朝、看護師が薬を用意します。痛み止めの内服薬がはじまります。						転院後のリハビリや入院生活について説明を行います。
検査				手術後、採血を行います。 	採血があります。 	採血があります。 			適宜採血があります。 適宜レントゲン撮影があります。	適宜採血があります。 適宜レントゲン撮影があります。	適宜採血があります。 適宜レントゲン撮影があります。
安静度	痛みが強くない程度に移動して下さい。痛い場合は歩行器などあります。			ベッド上安静です。介助にて病棟の枕で横向きになれます。	車椅子に乗ることができます。 1日目からリハビリが開始されます。 						
食事	内科的な病気のある方は医師の指示に伴い治療食です。間食は控えて下さい。		当日朝から絶食です。水分は主治医の指示に従って下さい。	水分は腸の働きを確認してから始めます。	次の日の朝から食事が始まります。						
清潔	入浴して下さい。(必要時介助いたします)				体拭きを適宜させて頂きます。 洗面は朝・夕にタオルとうがい水を渡します。	洗面は朝・夕にタオルとうがい水を渡します。	洗髪をします。 洗面は朝・夕にタオルとうがい水を渡します。	体拭きをします。 洗面は朝・夕にタオルとうがい水を渡します。	医師による傷の確認後、シャワー浴が開始します。 看護師の介助のもとシャワー浴をします。お風呂の動作に慣れるまでは介助します。	医師の確認後、浴槽に入ることができます。 看護師の見守りのもと浴槽へ入ります。お風呂の動作に慣れるまでは介助します。	
排泄				手術中に尿の管が入ります。排便は便器でとります。	尿の管を抜きます。抜いた後は車椅子でトイレに行けます。 						
患者様及びご家族への説明		オムツ1枚とビニール袋2枚を準備してください。 手術についてわからないことがあれば何でも聞いて下さい。	手術予定時間の30分前もしくは60分前には家族の方は来棟して下さい。	傷の痛みが出ることがあります。痛みがあれば、我慢せず申し出て下さい。	便秘になりやすいため、水分をしっかりととりましょう。 						退院(転院)に向けて不安はありませんか?何でも構いませんので、質問して下さい。 転院の場合 入院時の説明 病状の確認 薬の確認 退院後の方向性 自宅 転院 施設 未定
地域連携	担当者より、当院からのリハビリ転院について説明させていただきます。 今後の生活について、相談する担当者が伺います。								決定された転院先のご希望を伺います。 介護保険・身体障害者手帳などの社会制度・福祉サービスの情報提供を行い、今後の生活について相談します。 家族・住環境の確認をします。	転院先と面談があります。	退院または転院後の入院生活に不安がないかお話を伺います。

この予定表は、病状にあわせて、その都度変更する場合がありますので、ご了承下さい。